

平成 29 年度事業報告

1. 重点方針の実施状況

本年度は、マネジメント業界の共同体（連盟）として存在感をより高めるため、引き続き既存事業の選択と集中をさらに進めるとともに、経済産業省をはじめとする関係省庁とのパイプを太くして密接な協力関係を構築していくように努めた。

- (1) 全能連創立70周年に向け、9月より新たに国際委員会（仮称）を組織し、グローバル時代に対応した記念大会の企画内容を検討した。また、創立70周年に向けた新事業企画についてもヒアリングや会合開催を通じて調査・研究した。

*** 常任委員会、国際WG（仮称）での70周年記念事業の検討を行った。**

- (2) 全能連認定資格のPR、ならびに同資格取得者の交流のため、地域交流会を積極的に開催した。特に、MI（マネジメント・インストラクター）取得希望者が多い関西地域におけるプロモーションに重点を置いた。

*** 大阪において地域交流会（兼マネジメント交流会）を開催し、MC/MIの取得促進プロモーションを行った。**

<対象：MC/MI資格取得者、研修講師従事者、企業の人事担当者>

- (3) 公益社団法人としての全能連の役割・諸活動や関連する業界情報、ならびに国際的な大会・イベント情報などを、会員団体やMC/MIなどの全能連資格認定者はもとより内外へ積極的に発信し、広く産業社会に対し本連盟の認知度向上を図っていく。

*** ブログ・メールによる情報提供の継続実施と充実を図った。**

2. 平成 29 年度事業の総括

- 平成 29 年度の決算は特定費用準備資金への資金活用を積極的に図ったが、法人全体として黒字、また、公益目的事業単体としてもプラスとなった。
- 期末時点での会員数は、昨年度比から1団体増の43団体となった。
- 全国能率大会 経営・技術大会の参加者数はほぼ昨年並み、また優秀論文発表会の参加者数は若干減少した。
- 主要事業であるMC認定事業については、資格認定者の高齢化による認定返上が多い傾向は変わらず、全体として減少傾向ではあるが、下げ止まりの傾向もみられる。また、MI認定制度については取得者数が微増となった。

次頁以降、平成 29 年度事業別活動報告を行う。

以上

3. 事業別計画

公1 経営・マネジメント支援等事業

(1) 全国能率大会事業

第69回全国能率大会として、産業経済発展のための支援を担うマネジメント関係団体の発展、ならびにそこに働く人材の育成に向けた2つのプログラム（経営・技術大会、優秀論文発表会）を引き続き実施した。

【経営・技術大会】

昨今の経営課題の解決に係わるテーマ、また、これからの経営技術に係わる方向性や、経営革新事例の発表を通し、参加者の経営革新推進を図るため、情報提供を行う。

◇開催日：平成29年9月27日（水）

◇会場：アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）

◇プログラム：

基調講演：「AI（人工知能）と働き方改革」

元 富士通株式会社 取締役副会長 技術経営士 伊東千秋氏

特別講演：「企業不祥事はなぜ起きるのかー

ソーシャル・キャピタルから読み解く企業風土」

日本大学 法学部・大学院法科学研究科 教授 稲葉陽二氏

◇参加者数：67名（前年：62名）

【優秀論文発表会】

- ・「経営の科学化推進」の基盤となる経営技術の発展・促進や産業振興、経営技術向上への挑戦を目的として、論文募集活動を展開した。
- ・会員外にも広く門戸を開き、より広く広報に努め、応募の質・量の拡大を図った。
- ・応募論文より第1次審査にて優秀論文10編を選定し、優秀論文発表会にて発表・第2次審査を行い、経済産業大臣賞、経済産業政策局長賞候補ならびに全能連賞を選定した。この表彰を平成29年度社員総会時（5月29日）に行う。

◇開催日：平成30年1月10日（水）

◇会場：アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）

◇優秀論文一覧

（発表者敬称略・五十音順）

論文名	発表者
ケア責任を負った女性の就業継続・育成のための組織変革マネジメント	安藤 史江 南山大学大学院ビジネス研究科
競争優位性獲得のためのロジスティクス戦略構築・展開の支援 ～ロジスティクスチーム組織の立ち上げ・改善の実践事例より～	岩崎雅之 一般社団法人中部産業連盟
管理システムの改善による在庫削減 —サプライチェーン視点で在庫を削減する—	小坂智徳 一般社団法人中部産業連盟

在庫管理論の再構築 従来在庫管理との比較を通して みる「かんばん方式拡張在庫管理」の特質 サプライ・ チェーン・マネジメントへの展開を見据えて	佐々木 俊雄 DPM 研究会
経営者による経営理念浸透の取組みに関する一考察 ー地域 CSR 実践企業を事例としてー	柴田 仁夫 埼玉学園大学 経済経営学部
技術開発プロセスアプローチにおける研究	下嶋勝治 一般社団法人中部産業連盟
旅館・ホテル業の付加価値向上のための科学的マーケテ ィング手法の研究	高橋 佑輔・平 岳彦 未来基地株式会社
納入不良ゼロを目指す量産の品質保証に関する合理的 一般解その方法 (主に B to B のサプライヤーへの適用について)	西口 友章 アイシン・エーアイ株式会社
事業環境の変化に対応する弾力的生産能力構築 ～生産能力のリアルオプション立案に関する研究～	根本 慎也 株式会社日本能率協会コンサルティング
“キャリア自律” に労使はどう対応するか。 ー2016年4月職業能力開発促進法の「画期的」改正 をふまえて	平川 宏 筑波大学ビジネス科学研究科博士課程

◇参加者数：51名（前年：70名）

(2) マネジメント関係資格称号認証・認定事業

【資格称号認証事業】

- ・申請があり次第、該当委員会の審査を経て、なるべく速やかに認証するとともに、認証資格の運営状況に対して、継続し観察する体制を維持した。
- また、認証した資格については、広く産業界に告示し、資格を取得しようとする個人や企業が的確に選択できるよう情報提供の効果を高めた。
- 期末現在：59資格／18団体（前年：60資格／19団体）

【MC/MI認定共通】

- ・広報を強化し、認定MC/MIへの情報提供を質量ともに強化を図った。
- ・認定MC/MI他関係者に向けた自己研鑽と相互のネットワーキングを目的とする会合を年3回開催した。
- ◇大阪：平成29年7月15日（土）関西地区地域交流会
(梅田・アプローズタワー) 出席：13名
- ◇東京：平成29年7月21日（金）MC/MI大会
(アルカディア市ヶ谷) 出席：30名
- ◇東京：平成29年10月30日（月）研究交流会<ICMCI総会報告>
(中部産業連盟東京本部) 出席：12名
- ・認定は、例年どおり4月1日とし、認定者に対し認定証の交付及び官報公示を行い、認定されたMC/MIは全能連ホームページ上で広報した。
- 期末現在：MC 711名（前年：722名）、MI 66名（前年：54名）

【会員協同資格】

- ・会員協同により展開している全能連認定資格（ITPS、BPIE、HPMP）に関し、要請により制度委員会へ出席するとともに、取得者の更新に伴い開催される交流会（東京・大阪）への参加を行った。

（3）マネジメント関係調査研究事業

【調査研究】

- ・創立70周年記念事業と併せて、調査研究ならびに関連事業をどのような内容で行うかを、研究所が中心となり常任委員会において引き続き検討した。

◇開催日：平成30年1月31日（水）

◇会場：一般社団法人 日本能率協会（東京都港区）

【海外との情報交流】

- ・5月5～6日開催のICMCI Asia Pacific Hub(シンガポール)への参加をMC・MMC/EMIに対し呼びかけ、日本の代表団として4名の参加を得た（事務局2名を除く）。大会においては、アジア地域を中心とした他国からの参加コンサルタントとの交流をはかるとともに、我が国関係者に役立つ情報収集とチャンネルづくりを推進した。

（4）会員内事業

【会員交流の促進】

- ・定時社員総会開催後の会員情報交流会の開催を通じて、会員間及び関係官庁との情報交流・アライアンスの探求など新たな事業やビジネスに繋がる「交流の場」の拡大を引き続き図った。

収他1 顕彰者表彰事業

前年度とほぼ同様に、4月に募集を開始し9月に顕彰式を挙げるスケジュールで実施し、顕彰31名、表彰7名（前年18名、表彰6名）を顕彰した。

◇開催日：平成29年9月27日（水）

◇会場：アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）

以上